

## 京都でもらった経験

Mutiara Rachmadini Effendi,  
Universitas Indonesia  
August 1-12, 2016

Kyoto Summer Program 2016 では日本についての講義を受けたり、日本文化を習ったり、日本の生活を経験したり、当然自分の日本語能力を試したりしました。特に、京都での生活や心得を身に染みて感じる事ができました。

全体としては、日本人学生や東南アジアの学生達と、徐々に日本語で会話ができるようになりました。流暢ではないのですが、これまでのように怖がることはなく、勇気をもって会話に臨むようになりました。そもそも、来日したばかりの頃は日本語での会話はどうなるのか、もしかすると全然だめかもしれない、とっていました。しかし、先生方や京大生達は、たいがいシンプルな日本語で留学生にしゃべりかけてくれたので、怖気づくことなく、「日本語で会話を練習しよう」と考える事ができました。日本語以外にも、日本文化や日本人との付き合い方について多くのことを学習しました。

様々な講義の受講や見学・観光をしたのは、良い経験になりました。それぞれの経験は、自分にとって特別な意味をもっています。色々な日本料理を食べ、文化の点から観察をおこないました。また、私は宗教に興味をもっているので、八坂神社、伏見稲荷大社、市姫神社、東大寺、法隆寺など、多くの寺社を訪れました。

常に抱いている夢は、将来は心理学者になる、というのですが、現在は日本学科に在籍しています。「Kyoto Summer Program 2016」に参加して日本語・日本文化について見聞を深めることができ、本当に感謝しています。そのため、将来は日本語を使う仕事もやりたいと思い、これからも語学力を磨き、日本語でコミュニケーションができる友達を増やしたいと思います。また、京都大学の大学院の情報も調べ、大学院進学の計画を立てようと考えています。

このプログラムはすごく良いプログラムだと思います。様々な国同士が互いに交流し良好な関係を築くことができます。個人的には、非常に大切な経験になりました。他の学生にも是非勧めたいと考えています。